

実践『ペルソナ』通信 (No. 121)

「スマホケース」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大生の「スマホケース」について、観察調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

総括

今回の調査を通して、実践女子大学生はクリアなスマホケースを使用している人の割合が高く、その中でもステッカーや写真などの自分の趣味や好みに応じたものを挟むなどをしてアレンジしている人も多く見受けられ、スマホケースにより自分の個性や好みを表現することが分かりました。また、話を聞いたところ、クリアケースの利点は、挟むものを変えることでガラッとデザイン性を変更できることにあるという意見があり、クリアケースを使用している人は、その時々好みによりアレンジの仕方を変えているということも分かりました。

調査結果のポイント

(1) クリアケースを使用している割合が高い

大きなデザインがされているスマホケースや全面にデザインがあるスマホケースを使用する人よりも、圧倒的にクリアケースを使用している人に割合が高く、クリアケースを使用している人の中でもデザインがないものを使用している人のほうが多いことから、スマホ本体の色を見せたい、シンプルなケースが好まれやすいことが考えられます。

(2) クリアケースを使用している人のうち、何かを挟んでいる人が多い

クリアケースを使用している人の中でも、ステッカーや写真、グッズなどを挟んでいる人が多く、自分の趣味や好みに応じて何かを挟むことで、自分らしさを表現していると考えられます。

(3) スマホケースを選ぶ際にアレンジ性を重要視する人が多い

クリアケースを使用している人の多くが自分なりに、手を加えてアレンジをしていることからスマホケースにアレンジ性があるかどうかで選んでいると考えられます。また、話を聞いた際には、その時々によって、挟むものを変更したり、何も挟まなかったりということ

が分かり、アレンジ性の幅広さからクリアケースを選択する傾向にあると考えられます。

(4) iPhone 用のスマホケースを利用してる人が大半

人が調査を行った際に大半の人が iPhone 用のスマホケースを使用していることからスマホの機種としては iPhone を利用している人が多い傾向にあり、本体のカラーリングの幅広さによりアレンジの幅広さも広がることから iPhone の使用者が多いと考えられます。

調査概要

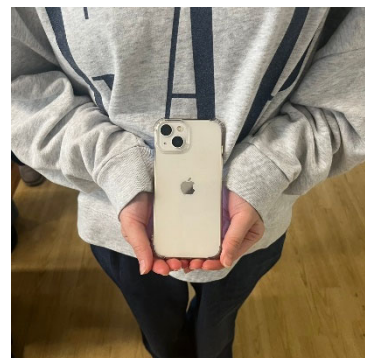
- ・調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- ・調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- ・調査期間：2024 年 12 月～2025 年 1 月
- ・調査場所：実践女子大学渋谷キャンパス・調査協力者の居住内スペース

調査担当者

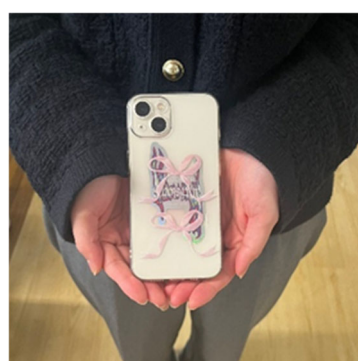
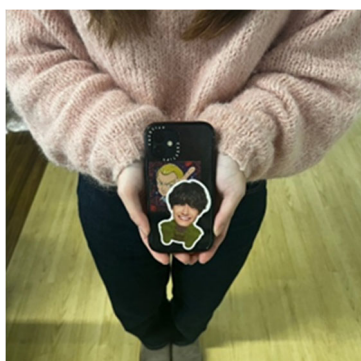
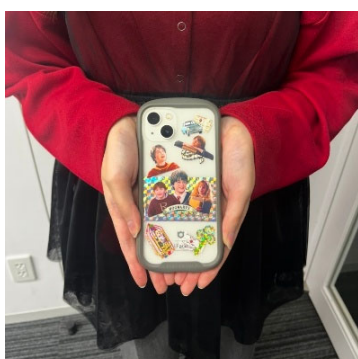
実践『ペルソナ』研究会 青木奏・竹島薫乃・小湊水貴・藤村実来里

写真

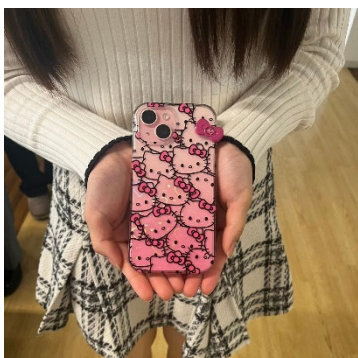
【クリアケース】



【クリアケース（挟み）】



【クリアケース（全面のデザインあり）】



【デザインケース】



調査後記

今回の調査を通じて、女子大生は様々なスマホケースを使用していることが分かりました。調査対象の24人中15人が、「クリアケース」を使用しており、A面の調査結果と同様に「クリアケース」を使用している人が多い結果となりました。スマホケースを綺麗に、長く使っていくためには、保護するためのスマホケースが欠かせないものと分かります。

さらに、「クリアケース」を使用する人は、ステッカーや写真を挟む人と挟まない人に分かれていました。写真を見ると、自分の好きなグッズやステッカー、写真を挟んでいることが分かりました。全体を通して、服装なども関係なく、誰一人として同じデザインのものはありませんでした。このことから、スマホケースは、小さいながらも自分自身の個性を表現して楽しめるものであることも分かりました。

今回の調査において、多くの学生の方々に快く調査への回答や写真の提供をしていただいたことで、報告書を作り上げることができました。ご協力いただいた皆様には、この場をお借りして深く御礼申し上げます。今回の調査での経験を今後の調査分析にいかせるよう、メンバー一同精進いたします。